



宮司づしス第六十号

彦島八幡宮 宮司 ニュース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十三年 五月二十一日

◇宮司の柴田です。 過日、福浦金刀比羅宮の例祭の御神幸祭を御奉仕し、終日、お神輿（おみこし）のお供をさせて頂きました。 好天にも恵まれ、担ぎ手の方も二十代、十代とかなり若くてですね、その若さに負けじと、ハイペースで歩きましたので、翌日は、ふくらはぎや体の節々（ふしぶし）が痛みました。 さらに、

派出所の入り口の扉に、お神輿を「突撃！」とぶつけようとする若者の前に立ちはだかったら、神輿の棒（棒バラといいますが）、私のお腹に命中し、体が扉に叩きつけられました。 つまりですね、その棒と扉に、一瞬、はさまったようになり、扉のガラスにヒビが入りました。 お祭りが終わって、「おつかれでしたね」と声をかけた担ぎ手の若者からは、「宮司さんがガラスを割ったんですよ」とからかわれながら、あいさつを返される始末でした。 かなり

ましたから、夏装束での御奉仕でしたので、強い陽ざしに汗ばむ肌も、福浦の港からの浜風が、さわやかにさえ感じられました。

◇東日本大震災より二ヶ月が経過しましたが、この大震災は、大地震と大津波が同時に起こり、福島の原子力発電所の事故、さらには風評被害、天災と人災との複合的な巨大災害であります。 被災によって尊い命を亡くされた方、未だ行方不明の方、避難生活を余儀なくされている方、心からお悔みとお見舞いを申し上げます。

哲学者の清水幾太郎は、日本人の事を、「大地震によつて脅（おびや）かされるといふ運命を担っている民族で、それは、遠い昔から今日まで、恐らく遠い未来に至るまで。」と述べています。 我々は、目には見えない大きな力によつて生かされて生きています。 大自然の恵みをうけて、この地球という大地に住まわせて頂いているのですね。 「地球にやさしく、環境にやさしく」というのは、人間のおごりであつて、「地球に、環境にやさしくしてもらっている」から、今の

「ライフライン」は不可欠です。 しかし、せめて、やっと一家に一台のクーラーという二十年前、扇風機と団扇（うちわ）で過（こ）した四十年前には、工夫をしながら、かえりつつですね、節電に取り組みたいものですね。 そして、「大自然を敬い感謝する」、「大自然への畏敬（いけい）」という、心だけは、い

穏やかな日々があるのですね。 「明」という字は、お日様の日と月を組み合わせたものではなくて、日は「窓」を表し、窓から月光が入り込むことを意味しています。 古代の人々は、その月の光の差し込む場所に祭壇を作り、神を祭つたといわれています。 やはり、未来永劫（みらいえいごう）、地球に環境にやさしくして頂く事を祈らなければならぬのですね。 過日のお祭りは、そのような祈りを込めて、黒い浮雲（うきぐも）が払われて、清明（さや）けき月の光を仰ぎたい、「明（あか）」るくなつて欲しい、その一心で御奉仕申し上げます。

◇西暦一、七七五年にポルトガルで起きた「リスボン大地震」では、約七万人の方が亡くなられるという大災害でした。 その大災害に、フランスの作家「ルソー」は、「自然にかえれ！」と言われたそうです。 今、私共が、「自然にかえり」生活する事は不可能です。 やはり、電気・水道・ガスといった「ライフライン」は不可欠です。 しかし、せめて、やっと一家に一台のクーラーという二十年前、扇風機と団扇（うちわ）で過（こ）した四十年前には、工夫をしながら、かえりつつですね、節電に取り組みたいものですね。 そして、「大自然を敬い感謝する」、「大自然への畏敬（いけい）」という、心だけは、い

つも、自然にかえってほしいものです。

◇橘曙覧(たちばな あけみ)は、幕末期の文壇において、清新な万葉調の歌を詠んだ歌人でありすが、

「たのしみは まれに魚煮(うおに)て

児等(こら)が うましうましと いひて

食うとき」という歌を残しています。

大変貧しい生活をしていらつしやつたそ

うですが、たまに頂く魚の煮つけを家族そろ

つて、じつに楽しそうに、おいしく食べてい

る、和やかな一家団欒(いつかだんらん)の

様子がうかんできますね。 まさに、「日々

は好日(ひびこれこうじつ)」、毎日毎日が穏

やかで平和な日々であり、これこそが、とて

も有難く、何物にもかえられない尊いもので

ある事を感じています。 ご自愛を祈ります。

◇四月、五月の祭典行事報告

▼月次祭 *四月一日、十五日

▼勸学祭 *四月三日

▼竹の子島金刀比羅宮例祭*四月九日〜十日



▼荒神祭(六連島) *四月九日

▼舟島祭 *四月十六日

※舟島神社例祭、佐々木小次郎慰霊祭

▼朝粥会 *四月二十一日

▼戦没者慰霊祭 *四月二十四日

▼昭和祭 *四月二十九日

▼月次祭 *五月一日、五月十五日

▼塩釜神社例祭 *五月五日

▼更衣(ころもがえ) *五月六日(立夏)

▼福浦金刀比羅宮例祭

*五月十五日〜十六日

◇五月の祭典行事予定

▼朝粥会*五月二十一日 午前六時半

◇五月の宮司の行事会議等予定

▼山口県神社庁並びに下関支部関係

◇役員会 *五月二十日

◇教学研究委員会調査研究委員会

*五月二十日

◇北九州神職会親睦野球大会

*五月二十七日

▼高校PTA関係

◇南高校PTA総会歓送迎会

*五月十二日

▼西ロータリークラブ

◇例会 *五月十八日、二十五日

◇メーキャップ *五月二十三日、二十六日

▼自治会関係、その他

◇しおかぜの里保育園監査

*五月十九日

◇しおかぜの里保育園役員会

*五月二十六日

◇健康診断 *五月二十七日

▼講演活動

◇宮司講和会

*五月一日

※午後六時、どなたでも参加できます!

※次回は、六月一日!

◇廣旗八幡宮祖霊祭(美祿市)

*五月八日

◇福浦金刀比羅宮例祭宵宮祭

*五月十四日

◇中国地区社頭講話研修会

*五月三十日〜三十一日

▼当宮関係団体

◇奉納ランドゴルフ会打合せ

*五月二十一日

◇早起会総会 *五月二十二日〜二十三日

◇奉賛会監査、役員会 *五月二十八日

▼教誨活動 *美祿社会復帰促進センター

◇集合教誨(女子) *五月九日

◇集合教誨(男子) *五月二十三日

▼倫理法人会 モーニングセミナー *五月二十五日